You'll Never Walk Alone

# 大島社協ボランティアセンター からのお知らせ

かわら版　No.040
（平成 28 年 3 月 22 日）

みなさん、こんにちは。大島社協ボランティアセンターです。
ボランティアセンターでは、現在、かわら版配布や仮設住宅でのお茶会などボランティアで協力下さる方々と共に活動を行っています。お困り事や相談事などお気軽にご相談下さい。

● お問い合わせ・ご相談は
生活支援相談員（草野・本宮）　2-3773　開所時間 / 8:30～17:15 土日・祝祭日は休み

## 新年度がはじまります

温かい春の訪れと共に新年度が始まります。進学・就職・引越しなど新しい生活の変化を伴う方々もおられると思いますが、毎日明るく元気に過ごすには「朝ごはんをしっかり食べる事」が大切だとあらためて注目されています。
朝食を摂ると、午前中のエネルギーを体中に行渡らせしっかり目覚めさせる。脳の動きを活発にし集中力をアップさせる。生活のリズムを整え生活不活発病やがんの予防にも繋がる。など大きな効果があります。忙しい方は果物を食べるだけでも効果的だといわれています。ぜひお試しを！

## 「復興住宅」の進捗情報

元町家の上地区の現在 (3 月 15 日 ) の様子をお伝えします。

元町家の上地区：内装・外廻り共に工事は仕上げ段階です。

家の上復興住宅は 3 月 24 日完成。3 月 26 日から鍵の受け渡し、入居される方々の引越しが始まります。一方、平成 26 年 1 月より約 2 年 3 ヶ月間、被災された方々の仮の住まいとして設置された北の山仮設住宅団地は 4 月 24 日にその役割を終える事になっています。

北の山仮設住宅

元町家の上地区

## 第３者調査委員会による調査結果報告会

平成 25 年の土砂災害における防災対応等の事実を明らかにし、教訓を導き出す事で今後の防災対策に活かす事を目的に設立された第 3 者調査委員会による調査結果報告会が 3 月 15 日、開発総合センターで開催されました。

委員長からは平成 25 年までの大島町の災害時の対応体制、発災前後の大島町・住民の動きなど当時の状況、できた事・できなかった事の分析、それらをもとにした大島への防災の提言が話されました。

「住民の皆さんに」という防災の提言では

- 日頃から情報収集でいざという時の避難行動に慣れておく。
- 近隣の避難行動が必要な人への対応を考え確認しておく。
- 市町村が出す避難準備・避難勧告・指示の基準をしっかり理解しておく。
- 具体的な避難場所・避難方法を決めておく。
- 災害の出来事をしっかり後世に伝えていく。

など、“ もしも ” に備える大切さが伝えられました。

## この人に聞く！　～その６～

お買い物や散歩の途中の人、街中を散策する観光さんなどがちょっとひと休みできるお茶のみ処として毎朝早くからお店を開け続ける「くぼいちさん」。

現在「くぼいちさん」では「おばあ野菜市」というタイトルで水曜日と木曜日の店先に新鮮な野菜やお漬物が並びます。

「昨年の夏前まで、特に独り暮らしや車に乗れないお年寄りの人から、『買い物に行く事が大変になった。』『大島産の新鮮な野菜を買いたいがなかなか手に入らない』という声を聞く事が多くなっていました。その話がきっかけで小さくても元町のお年寄りが気軽に取れたての大島の野菜が買える場所を作りたいという想いが強くなっていきました。」そう当時を振り返って下さった「くぼいち」店主の柳瀬さん。

昨年 7 月、そんな柳瀬さんの下に農家さんから協力の申し出がありました。大きな宣伝はせず静かに始まった「おばあ野菜市」。現在では、口コミが広まり水曜日は買い物に訪れるお客さんで賑わいます。

「最近は『野菜の日を楽しみにしてるよ！』『近所でお店を始めてくれたおかげで自分で選んで買い物が出来るようになった事が楽しいよ。』など声をかけられることが増えそれを何よりもうれしく感じています。これからもちょっとひと休みしたい人・誰かとおしゃべりしたい人、誰でも大歓迎です。来てけーろ！」と話して下さった柳瀬さん。平成 25 年台風 26 号のあと始まった「くぼいち木曜日お茶会」も 4 月で２周年を迎えます。